【がん種】 大腸癌
【レジメン名】 CPT-11+Cmab②CPT-11B法
【登録番号】 160515
【1コースの期間】 7週間
【総コース数】 進行・再発：PDまで
【催吐性リスク】 中等度：カンプト、最小度：アービタックス
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント（炎症性）：カンプト、ノンビシカント（非壊死性）：アービタックス
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、低マグネシウム血症、注入に伴う反応、疲労、コリン作動性症候群、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘、脱毛、ざ瘡様皮疹、そう痒症、皮膚乾燥、皮膚疼痛、爪囲炎
【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 N Engl J Med 351:337-345, 2004. J Clin Oncol 26:2311-2319, 2008. Jpn J Clin Oncol 38:762-769, 2008.

【点滴の時間】 [day1]初回5時間, 2回目～4時間、[day8, 22, 36, 43]3時間30分、[day15, 29]4時間
【費用】 編集中
【その他】 対象患者：RAS遺伝子変異ー.
カンプト：UGT1A1に*6(*6/*6), *28(*28/*28), *6(ー/*6)+*28(ー/*28)のいずれかの多型がある場合には骨髄抑制が強く出現する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日																				
					1	2	3	…	8	…	15	16	17	…	22	…	29	30	31	…	36	…	43	…	49
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ	○						○						○								
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○						○						○								
	アロキシ静注 0.75mg	1 V																							
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A																							
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V																							
	ポララミン注 5mg/1mL	1 A																							
3	生理食塩液 250mL	1 B	側管	初回2時間、2回目～1時間	○						○						○								
	アービタックス注射液	- mg/m2																							
	初回400mg/m2、2回目～250mg/m2																								
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	90分	○						○						○								
	カンプト点滴静注	150 mg/m2																							
5	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝昼食後		○	○					○	○					○	○						
6	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ					○						○						○		○		
7	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分					○						○						○		○		
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V																							
	ポララミン注 5mg/1mL	1 A																							
8	生理食塩液 250mL	1 B	側管	1時間					○						○						○		○		
	アービタックス注射液	250 mg/m2																							
9	生理食塩液 100mL	1 B	側管	1時間					○						○						○		○		